

第53回

日本農業賞応募用紙（集団組織の部）

都道府県名		(ふりがな) 市町村名		所在地 J A 名 (基幹 J A 名)	
-------	--	----------------	--	-------------------------------	--

(ふりがな) 組織名 (団体名)		主要作目	
------------------------	--	------	--

組織形態 (加入戸数または人数)		設立年月日	
---------------------	--	-------	--

所在地・ 代表者	〒 住所 (ふりがな) : 電話番号 : 代表者 : 役職 氏名 (ふりがな) : 生年月日 :		
-------------	---	--	--

J R ・ 私 鉄 線 最 寄 駅 駅

(ふりがな) 推せん者 (所属・役職)		実施要領を了承の上で応募することに同意します。 (ご本人の自筆にてお願い致します) 組織の住所 (自署) _____ 代表者の氏名 (自署) _____
---------------------------	--	---

都道府県 J A 中央会 事務局担当者 (中央事務局より連絡を取る 際の担当者を記入)	団体名 : 所属部署・氏 名(ふりがな) : 住 所 : 〒 E-mail : 電話番号 :
--	--

第53回日本農業賞の概要

1. 参 加 資 格

- (1) 個別経営の部……経営・技術に優れ、地域社会の支持と共感を得ている農業経営者
- (2) 集団組織の部……意欲的で創造力があり他を啓発するにふさわしい集団組織

2. 応募締切日と受付場所

- (1) 応募締切日……令和 5 年 9 月 8 日 (金)
- (2) 受付場所…… J A、NHK 地域放送局、農業普及指導センター

3. 応募方法

応募は自薦・他薦を問いません。「第53回日本農業賞応募用紙」に所定の事項を書き込み、必要な資料を添えてお申し込みください。

4. その他

- ご応募頂いた書類、資料は返却しません。
- ご記入いただいた個人情報、審査、発表、記録等、この事業を実施するために使用させていただきますのでご了承ください。

I 地域概況

1. 地域略図（簡単な略図で結構です）

2. 経営環境の特徴（簡潔にご記入ください）

(1) 気 象

(2) 土 壌

(3) 水 利

(4) 市 場

(5) そ の 他

Ⅲ 活動内容

1. 生産活動（特に集团的農用地利用を含む）

2. 共販活動

3. その他の活動

IV 組織の主要指標

1. 加入農家数ならびに参加農家の概況（令和4年度末の加入農家数、平均年齢、主要作物、平均経験年数などを記入する。）

4. 組織が保有ならびに利用している農業施設

施設名	保有形態	利用状況
共同乾燥調整施設		
ライスセンター (カントリー・エレベーター)		
共同選果場		
冷蔵・貯蔵庫		
集荷場		
育苗施設		
育雛場		
食鶏処理場		
繁殖豚センター		
食肉センター		
クーラーステーション		
農機サービスステーション		
糞尿処理施設		

※保有形態については、組織が自ら保有しているものと、JAなど地域の施設を利用しているものを区分して記入する。

※利用状況については、利用方法、稼働率などを記入する。

5. 当該組織内農家の生産指標と県内生産指標との比較（例えば搾乳牛経営にあつては年間搾乳量、分娩率、牧草の反当収量など、当該組織の実績と県農林統計の指標を比較し記入する）

6. 肥培・飼養管理の特色（施肥設計・防除形態、飼料の給与方式および種類、鶏舎・畜舎の構造、家畜の糞尿処理方法などを記入する）

7. 市場における生産物の価格水準（県農林統計と比較した当該組織の実績を記入する）

8. 組織リーダーの経歴など（リーダーの氏名・年齢・経歴などを記入する）

V 組織構成農家の主要指標

1. 農家の平均経営規模の推移（主要作物の栽培面積、主要家畜飼養頭羽数の推移をあらわす）

部門 年度				
令和 2				
令和 3				
令和 4				

2. 農家の平均経営収支推移（当該組織農家の経営収支について最近3か年間の概況を記入する）

（単位：千円）

			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
粗収益	生産部門	計①					
		うち、補助金	畑作物の直接支払交付金				
			水田活用の直接支払交付金 その他（ ）				
	加工・販売部門	計②					
		うち、補助金	6次産業化 その他（ ）				
小計③							
経営費	生産部門	種苗・苗木費					
		肥料費					
		農業薬剤費					
		もと畜費					
		飼料費					
		家畜償却費					
		獣医及び医薬品費					
		敷料費					
		光熱動力費					
		諸材料費					
		土地改良・水利費					
		賃借料・料金					
		租税公課					
		建物費					
		自動車費					
		農機具費					
		生産管理費					
		労働費	計				
			うち雇用				
		支払利子					
		支払地代					
		その他償却費（建物・自動車・農機具等）					
		計④					
		加工・販売部門					
			計⑤				
	小計⑥						
所得	生産部門	所得（①－④）					
	加工・販売部門	所得（②－⑤）					
	経営全体の所得⑦（③－⑥）						
	農外所得⑧						
	所得合計（⑦+⑧）						

- 注1：構成員数が多い場合などは、①複数名の平均的経営規模の構成員の青色申告データ等に基づいた平均値とする、
②粗収益は部会等の総売上高とし、経営費は県の指標等をもとに算出する等の方法も可。
- 注2：労働費には家族労働費を含めて記入。
- 注3：組織法人経営等の場合は、家族労賃を構成員労賃に置き換えること。
- 注4：生産部門と加工部門の経費については、部門別の経理処理がなされている場合は部門別に記載。部門別処理が
されていない場合には、生産部門に一括して記入し、加工・販売部門の欄に「生産部門に一括記入」と記載。
- 注5：自社生産物を加工する場合、原料の評価額は売上げには計上しない。

7. 今年度の他賞への応募状況

賞の名称等	主催者	備考

審 査 講 評 (都道府県名)

審 査 委 員 長 役 職 名
氏 名